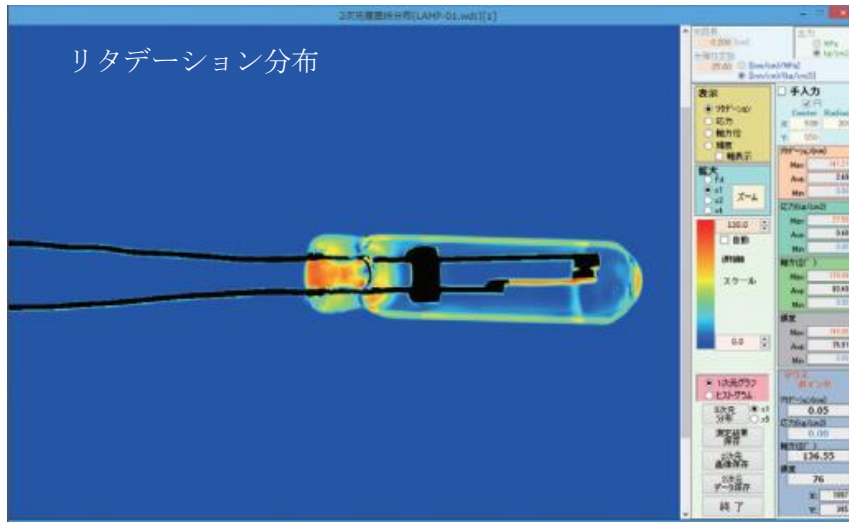


■導入事例

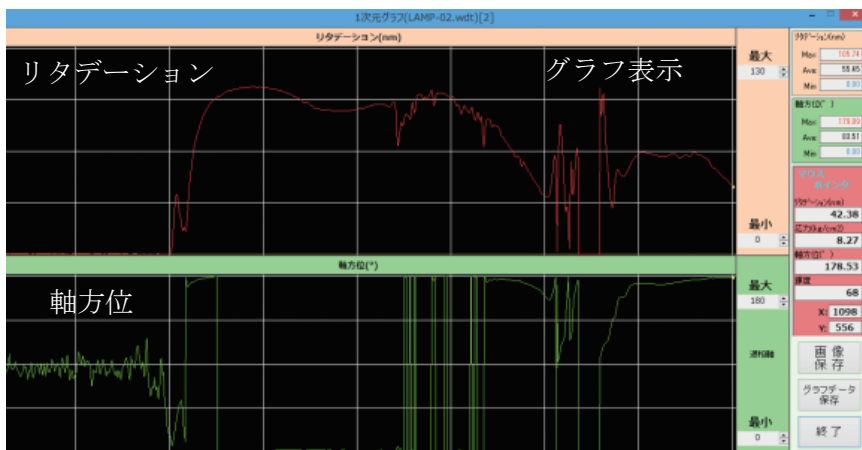
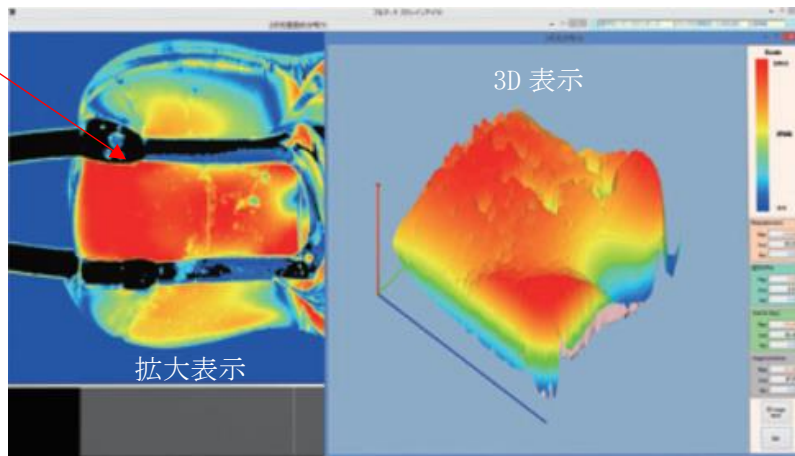
みなさんこんにちは。今回は歪検査器に関する、導入事例をお届けします。

■歪検査器・残留応力

ルケオの全自動歪検査器は、様々なお客様のものづくりの現場においてガラスや樹脂の残留応力検査で活躍しております。今回は、ガラスランプバルブの残留応力検査で LSM-9001S をご活用いただいている事例を紹介いたします。LSM-9001S は、6倍ズームレンズを搭載しているため、小型のランプバルブの計測に最適です。



封止部  
残留応力



ランプバルブ封止部 残留応力 (LSM-9001S)

大型のランプは視野が 200×200mm の LSM-9001LE で計測が可能です。ランプの検査用として LSM-9001 シリーズは、従来の 9000 シリーズと合わせて数多くの導入実績があります。LSM-9001 シリーズの歪検査器を利用することでランプの封止部とその周辺の残留応力を定量的に検査できるようになります。

ルケオ本社のショールームには歪検査器や偏光板・波長板を展示しており、いつでもお試しいただけるようになっていますので、お気軽に申し付けください。

フルオートストレイナイ LSM-9001 シリーズ(Jpn.)

<https://www.luceo.co.jp/product/?id=1561246728-980092>

問い合わせ先：

株式会社 ルケオ / 営業部

東京都板橋区大山金井町 30-9

TEL : 03-3956-4111

<https://www.luceo.co.jp/contact/>

以上